

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/10/17号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

9月CPI上昇でドル上昇ゴールド下落

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



マーケットの最大の注目の9月のCPIが発表されました。単月で市場予想の0.3%に対して0.4%の上昇、一年では8.1%の予想に対して8.2%。今だにインフレがまだまだ治まる傾向が見えないということで、発表直後は非常に神経質な動きとなり、ゴールドは発表直前の1675ドルから一時1643ドルまで急落、ドルと長期金利は急騰、株は急落というCPIが高かったときの予想通りの動きとなりました。特に食料とエネルギーを除いたCore CPIが8月の6.3%から6.6%へと大きく上昇したことは、FRBがより積極的な金利上げをする可能性が高くなったと思われます。CMEのFedWatchによれば11月の0.75%の利上げに続いてここまで0.5%とみられていた12月も0.75%になる可能性がより高くなっています。もしそうなれば、0.75%の利上げが5回続くということになり、1980年代以来の出来事になります。11月の0.75%利上げの確率は99.3%、12月は71.6%になっています。ということは年末にはFF rateは4.5%から4.75%になります。ここまでのこれだけの急激な金利上げにも拘わらず、CPIの上げは止まっています。今年のジャクソンホールで、パウエル議長が言っていたmore suffering and pain by Americans が現実味を帯びてきています。不景気の中のインフレ、スタグフレーションの恐れは相当大きいのではないのでしょうか。ここから年末にかけては金利上げにともないしばらくはゴールドにとっては頭の重たい展開が続くようですが、スタグフレーションはゴールドにとっては非常に強気な環境になります。来年の早期におそらくFRBの金利上げは最終局面を迎え、ゴールドは上昇する展開になるのではないかと考えます。ということはもし年末に向けて大きく1600ドルへと下げる場面があれば、そこは拾い場ということになるのではないのでしょうか。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

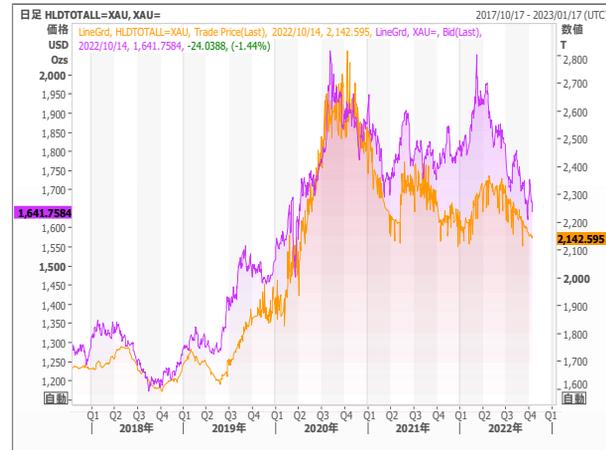
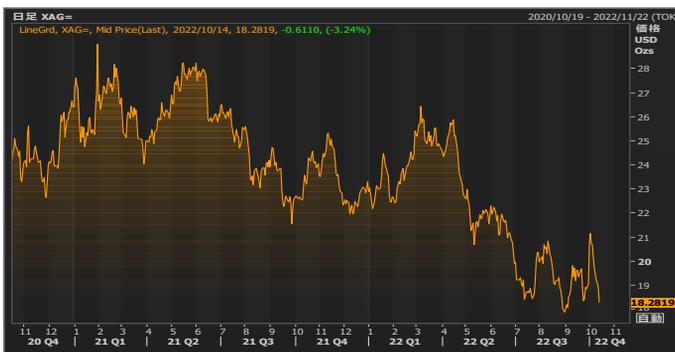
【マーケット・トピック】

「シルバー現物在庫急減 その2」

(先週から続き)

これらのターミナルマーケットでの巨大な在庫の減少は偶発の出来事ではありません。シルバーの最大の需要国であるインドのシルバー輸入量が7月1800トンを超えて過去4年間のどの月よりも50%以上多くなり、おそらく史上最大の輸入量になったようです。銀行が、インドへのシルバー輸出のため、Loco London およびCOMEXでの在庫を引き出しているのであろうと思われるのです。これは、現在の需要と供給のギャップを反映した動きでもあります。現在のシルバーの生産は一月当たりで考えると鉱山生産が約2200トン、リサイクルからの二次供給が470トン程度です。一方現在の投資需要だけで3000トン近くあり、明らかに需要が供給を大きく上回る状態にあります。その上、産業用需要としての太陽光発電のソーラーパネル需要が毎年13%から14%の割合で増加しています。2022年のこの分野の需要はすでに約4000トンです。これだけでも明らかに供給は需要に追いついていません。その結果、現在あるLoco LondonとCOMEXの在庫が引き出され食いつぶされているのです。この状況において価格が下がるということは非常に不自然に感じます。売りは先物市場で、つまり現物の必要のないショートとして弱気の投資家が売っているというのは最初に書いた通りです。彼等は必ず買い戻します。このファンダメンタルズに加えて、投資家のショート。シルバーはおそらく短期的には先物市場での投資家の買い戻しと長期的には現物需給のアンバランスから価格が大きく上昇する可能性がありますと考えます。

(ドル建てシルバーの動き)



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

